



No. 22

2014 年 9 月号
 一般社団法人日本書字文化協会
 代表理事・会長：大平 恵理
 編集 長：佐藤 貴子
 〒164-0001
 東京都中野区中野 2-13-26
 第一岡ビル 3 階
 TEL 03-6304-8212
 info@syobunkyo.org

《目次》

- ◇ 新検定要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◇ ひらかき審査会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◇ 通信こだま・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◇ 8 月検定から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◇ 臨書展手本ホームページアップ・・・・・・・・・・・・・ 8

硬筆新検定実施要綱決まる

課題の「評価の観点」合否通知

検定改革を進めている書文協は、「評価の観点」（計50項目）が合格点（60点）に達しているかどうかを受験生に公開するなど、硬筆検定の実施要綱を決めました。検定改革はまず硬筆検定から実施され、現行の硬筆楷書、同行書の2つの検定を1本化した「新硬筆検定」が実施されますが、要綱は毛筆にも適用されます。ドリル効果がある現行検定は継続、新検定に移る場合への段級移行方法も決めました。

(2、3面に関連)

文部大臣賞など決まる

ひら・かきコン審査会

第3回書写書道総合大会の26年度ひらがな・かきかたコンクール審査は13日、東京。中野勤労福祉会館で、例年通り中央審査委員会3役によって行なわれ、各賞が決まりました。9月初め発表予定です。（関連記事4・5面）

中央審査会・会員総会

9月28日に合同懇親会

第3回総合大会の「学生書写書道展」「全国硬筆コンクール」の中央審査会は9月28日（日）午後、会員総会は午前に開催。中央審査委員・席書き大会実行委員長と会員先生方合同の懇親会は同夕開催の予定です。会員の希望者は審査会見学を可能にします。27・28の両日、記念講習会を開催します。



大平 恵理

文字を書くことは、身体表現。きれいな文字を書くのに「筆圧」は大事です。▲脳の指示で、書く力が指からえんぴつへ、芯の先から紙へ伝わるのが「筆圧」。ところが、筆圧がかからない子が多いように思えます。▲「筆圧」の教えが足りないのか、現代の子の身体的退化なのか。心配していません。（書文協会長）

書写書道硬筆課題検定実施要綱

1、名称 書写書道硬筆課題検定（通称、新・硬筆検定）

2、検定仕様

- ◇月ごとの受験課題数に制限はなし。
- ◇不合格でも次の課題に進めるが、段・級は合格した課題までに対応して付与される。

◇ワンポイント添削をして、受験作品を返却します。

◇本シリーズ7冊目（中学1年標準）課題番号53番から行書、10冊目（高1標準）同77番から草書が入ります。

◇受験者は1番課題から受検のこと。

3、「評価の観点」の可否通知

各課題で示される「評価の観点」について、各観点の可否を通知する。1項目でも不合格があれば、課題全体が不合格となる。60点（100点満点）を合格ラインとし検定結果は合格・不合格で通知する。

4、受験作品発送・審査結果返却

- ◇偶数月に検定実施。同月末、検定作品必着。
- ◇翌月15日頃までに、本部から受験者に結果を発送。

5、受験料

新・硬筆検定、新・毛筆検定（予定）共通値段とし、片方受験は（A）、両方受験は（B）の2つの料金を設けます。下記表参照。段階は、使用テキスト（標準学年制）の学年で刻みます。

	B	A	
	硬筆検定・毛筆検定両方受験	硬筆検定または毛筆検定のみ受験	
	400	500	幼児・小学1～3年 標準
	450	550	小学4～6年 標準
	500	600	中学生 標準
	550	650	高校生 標準
	600	700	一般 標準

*新・毛筆検定（仮）が始まるまではAのみ。

単位：円。価格は消費税別。

6、テキスト

本シリーズ 15冊	幼児編		ページ数	本体価格	収録課題数	全課題数
	下	上				
えんぴつ・ペン文字練習帳 （標準学年生）	えんぴつひらがなれんしゅう ちよう	はじめてのえびつれんしゅう ちよう	64ページ	600	6課題	10課題
	64ページ	600	600	4課題		
64ページ	600	600	8課題	120課題		

7、段級付与 検定成績により段・級を付与する。合格課題番号

と付与段級表は別表（3面）参照。

8、現行検定からの移動

基本的に現行段級を引き継ぐ。現行の硬筆楷書、行書双方を受験中の場合は、本部と教室指導者（通信の場合は添削担当者）が相談。

9、教室指導者連絡 指導上の課題など、必要がある場合に本部

から郵送あるいは電話で教室指導の相談に応じる。

10、清書用紙 硬筆共通清書用紙を使用。

11、附則 この要項は平成26年9月1日より実施する。

段 級 等 対 照 表

段・級	課題番号	テキスト名	標準学年
10級	1～4	はじめてのえんぴつ れんしゅうちょう	年中 以下
9級	1～6	えんぴつひらがな れんしゅうちょう	年長
8級			
7級	1～8	えんぴつ・ペン文字練 習帳 1 巻	小 1
6級	9～16	えんぴつ・ペン文字練 習帳 2 巻	小 2
5級	17～24	えんぴつ・ペン文字練 習帳 3 巻	小 3
4級	25～32	えんぴつ・ペン文字練 習帳 4 巻	小 4
3級	33～40	えんぴつ・ペン文字練 習帳 5 巻	小 5
2級	41～48	えんぴつ・ペン文字練 習帳 6 巻	小 6
1級			
初段	49～56	えんぴつ・ペン文字練 習帳 7 巻	中 1
2段			
3段	57～64	えんぴつ・ペン文字練 習帳 8 巻	中 2
4段	65～72	えんぴつ・ペン文字練 習帳 9 巻	中 3
5段	73～80	えんぴつ・ペン文字練 習帳 10 巻	高 1
6段	81～88	えんぴつ・ペン文字練 習帳 11 巻	高 2
7段	89～96	えんぴつ・ペン文字練 習帳 12 巻	高 3
8段	97～104	えんぴつ・ペン文字練 習帳 13 巻	一般①
9段	105～112	えんぴつ・ペン文字練 習帳 14 巻	一般②
10段	113～120	えんぴつ・ペン文字練 習帳 15 巻	一般③

新検定受験者・教室に

「評価の観点50項目表」送付

止め はね 払い 長さ 方向 あき・・・

学習指導要領・教科書に準拠

書文協は作品のどこを検定審査でチェックするのかを明示した「評価の観点」を作成しました。「評価の観点」50項目は受験生に送付されます。字形や線質などを考えながら、科学的に学ぶことが出来ます。また、教室での先生の指導もしやすくなると思います。

ただ、現行検定は何度も繰り返し返すことによつて成果を得るドリル効果は高いものがあります。硬筆も楷書、行書に分かれるなど多くの検定コースがあり、じっくりやるには

最適です。このため希望者のために残すことになりました。

検定の進度に合わせて段・級付与

新検定は検定の進度に合わせて段・級が付与されます。この段・級は、書文協がその人の文字を書く力を保証するものです。このため書文協は公共的運営に専念し、社会の信頼を得ていくように努力しなくてはいけないと自戒しています。

また、段・級は、書を学ぶ人の足跡として学びの継続を支えます。一段ずつ段・級を上がっていくことによつて、書を生涯学習とすることができるようになるでしょう。

現行検定と新検定と段・級のレベルは1本化されるように合わせてまいります。

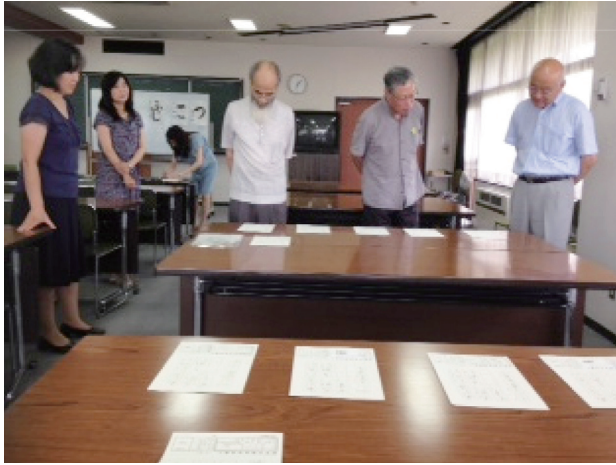


26 年度ひらがな・かきかたコンクール審査会

「評価の観点」意識した出品を

「上手で驚いた」。8 月 13 日行われた 26 年度ひらがな・かきかたコンクール審査会で中央審査委員会 3 役は、作品の完成度の高さに関心しました。応募点数は横ばいの 8,578 点(昨年 8,570 点)でしたが、力は伸びているようです。

審査に当たったのは、井上輝夫中央審査委員会常任顧問、小森茂委員長、加藤東陽副委員長。写真。講評として、大会参加が書の学びにつながることをひごろから強調している小森委員長は「評価の観点をきちんと抑えて描いていくことが大切なことを改めて感じました」。各方面で審査を務める加藤副



委員長は「練習でなぜ 2 枚目を書くのか、考えることが必要です」と、評価の観点を意識した練習が大切と強調しました。

書文協では、枚数を書く根性型練習だけでなく、字形や線の流れ、筆圧などを意識した「考える練習」のためになる「評価の観点」を明示した検定、大会手本の明示に取り組んでいます。



自国を誇る

あるきっかけで新たな道を歩む方がいます。そして、進路の選択として留学される方も多ようです。

「百聞は一見に如かず」の通り、自分の目や心で見聞きすることで視野は果てしなく広がります。留学から戻られた方のお話しをお聞きしても世界という視野を感じます。その中で書写を学ばれた方であれば、だいたい第一声は「書写をやっていたてよかった。もっとやっておけばよかった…」等が多いです。

作品や名前を漢字で書いてほしいと頼まれたり、「あなたはヨーロッパ等でもっと自分を広めるべき」と言われたりして、自分をもっと誇るべきだと語られるようです。

自分が行き来したり、皆さんのお話しをお聞きして改めて思うのは、世界へ出た時に、語学留学でしたら語学はできて当たり前のものであって、その場でより自分を生かせるのは、自国の文化や伝統を自信や誇りを持って表現したり、伝えてこられる事なのではないかという事です。

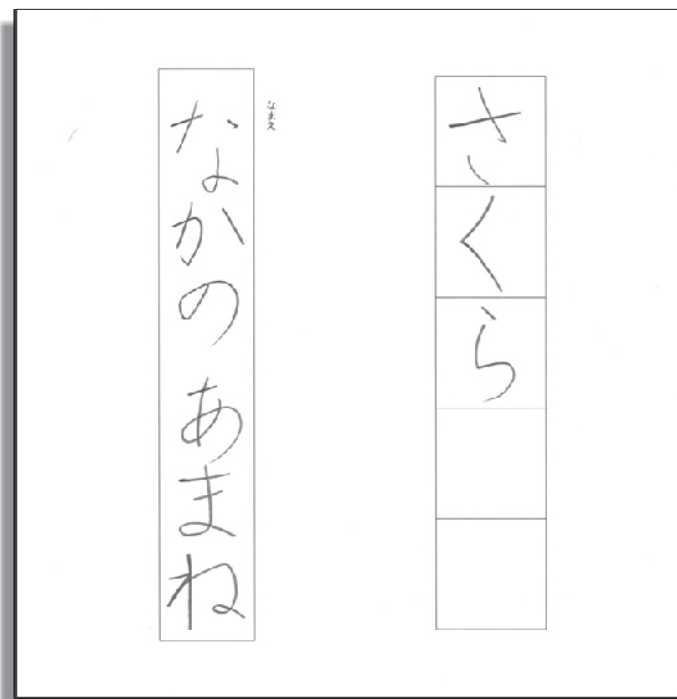
書文協では日本独自の文字である「ひらがな」を大切にしています。また、文字に留まらず日本には素晴らしい文化・伝統・美しいものがたくさんあります。自国の誇れるものを持つのは大切なことです。世界に目を向けさらに飛躍していきたいと思えます。

渡邊 啓子(書文協副会長)

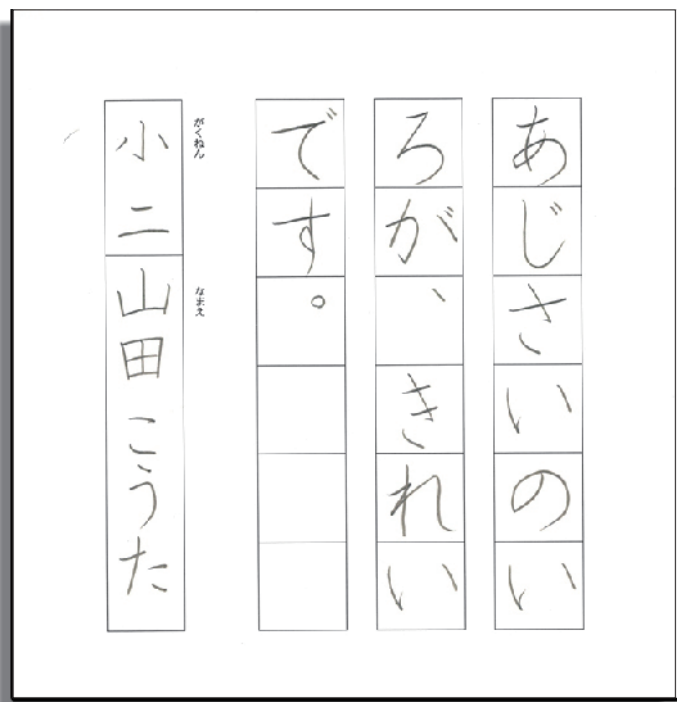
平成26年度ひらがな・かきかたコンクール
文 部 科 学 大 臣 賞



大阪府吹田市立南ヶ丘保育園
年長 中野 明舞音



広島県広島市立亀山小学校
2年 山田 倭大



通信「教学半」

続けるということ



続けることと辞めること、どちらが大変でしょうか。どちらも精神的葛藤があったりたいへんかと思いま



す。しかし、続けていると良いことはたくさんあります。昨今の大学入試では、自己推薦入試（AO入試など）が増え、入試制度のあり方がいろいろとりざたされています。そんな時、大学に提出出来るのは、取得した資格や受賞歴なのです。

それは、大学側が勉強以外にその人にはどんな特技があるかを知るために、幼い時から何を続けてきたのかをみたいのだと思います。特別な入試方法があるからといって、高校生になって急に何かをはじめても、ものになるまでには相当な時間を要するでしょう。

高校生になるまで続けていくには、部活動や受験といった時間を多くとられることを経験しながら、それでも続けていかななくてはいけません。何回となく辞めようかと壁にぶつかってきたかと思えます。それでも続けることで、自分では気がつかない実力と精神力がついてくることとでしょう。

たくさんさんの受講生の中で、小学生から大学生、就職した今でもコツコツと文字の練習を積み上げている方たち

がいます。はじめは文字の上達のみでこだわっていたかもしれませんが、今ではきつと書くことが生活の一部となっていることとでしょう。

永く続けること、それは色々な経験を経て、技術的にも人間的にも成長させてくれることになるでしょう。

池田 圭子（書文協教学参与）



各地で好評開催中

えんぴつ指導者ライセンス講習会

日本語の6割以上は、ひらがなが占めています。字が上手になる基礎はひらがなからです。

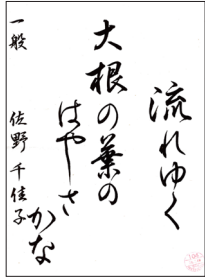
ライセンスは検定と連動してはいますが、このライセンスは講習を受け、終了試験に通れば付与されます。現在予定があるのは◇名古屋9月6日（土）◇浜松9月13日（土）◇福岡10月4日（土）。みなさん受講してください。



東京・代々木のオリセンで、8月30日

今月の

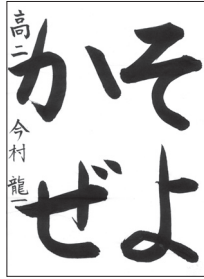
検定から



一般
佐野千佳子



一般
荒井みずえ



高2
今村龍一



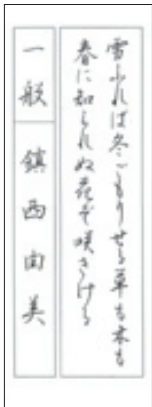
小6
森本彩未



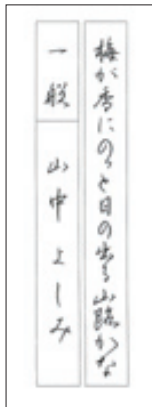
小5
川口和果奈



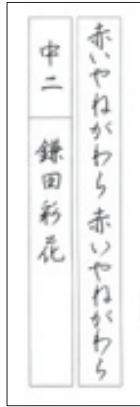
一般
樋口とも子



一般
鎮西由美



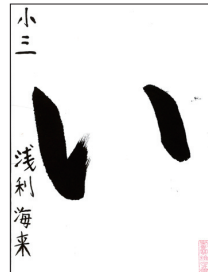
一般
山中よしみ



中2
鎌田彩花



小4
樋口美月



小3
浅利海来

「文鎮」

集中するために

日ごろ練習やお清書などをしてしていると、ついつい真剣になり周りのことが見えなくなってしまう人が多いと思います。

私もそうです。ふと周りを見渡すと、書いた紙や消しゴムのかすが散らばっていたり、そこにあつたはずのエンピツ削りがない・・・と探したら、書いた紙の下にあつた!! などといういろいろな事件が起きます。こんなことをしていると書くことに集中ができなくなります。

周りを見渡し、書くために机の上を整理整頓しましょう。そして、自分の心とこれから書く課題にまっすぐに向き合えるように、机の上のものはまっすぐにきちんと置いて、しっかりと集中できる環境を整えましょう。

これは書写書道だけではなく勉強の時もそうです。机の上やお部屋もきれいにしましょうね。

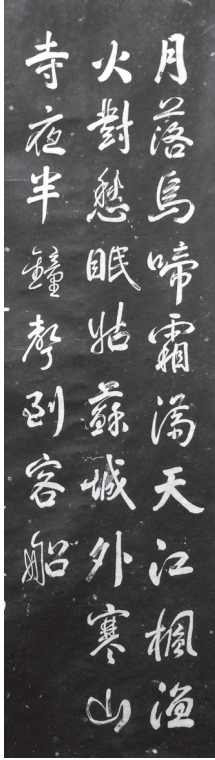
佐藤 貴子 (教学主任兼事務局長)



《風橋夜泊拓本》

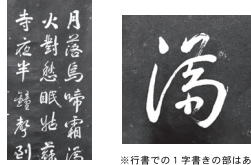
《漢字日本楷書》

第1回 漢詩「楓橋夜泊」臨書展
臨書の部
 中国蘇州・寒山寺「楓橋夜泊」拓本



主催 一般社団法人日本書字文化協会
 後援 青梅市（東京）日中友好協会
 中国書法学院
 蘇州・寒山寺
 中国国立南京芸術学院
 蘇州呉昌碩研究会

第1回漢詩「楓橋夜泊」臨書展
 かいしよ
楷書書写の部 参考手本
 参考：中国蘇州・寒山寺拓本（左=全体、右=部分）



主催 一般社団法人日本書字文化協会
 後援 青梅市（東京）日中友好協会、中国書法学院、蘇州・寒山寺、
 中国国立南京芸術学院、蘇州呉昌碩研究会

臨書展
 拓本、手本アップ
 東京都青梅市沢井の日本寒山寺を舞台にした漢詩・楓橋夜泊（ふうきょうやはく）の臨書展の拓本、漢字楷書手本（大平恵理揮毫、月など9文字）がホームページにアップされました。

「書写・書道教育充実のための署名」
書文協第1次集計983人
 標記署名について、書文協は8月末に第1次集計を行い、983人分の署名を事務局の書写書道教育推進協議会（全日本書道連盟内）に提出しました。9月8日に最終集計を行い、追加提出する予定です。皆様のご協力に感謝いたします。

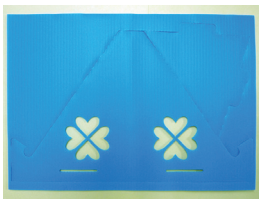
記録アルバム利用を

アルバム立てを新開発

学びの足跡、成長の記録としてコンクールごとの記録



←組立前の形



アルバムをより活用していただくため、アルバムスタンドを新たに開発しました。材質はプラスチック。大（ひら・かきコンなど用）250円、小（年賀はがきコン用）は200円。＝写真。
 いずれもアルバムと別送の場合は送料は別です。